THE ROTARY CLUB OF KARIYA
Weekly

2008～2009年度　国際ロータリー　李　東建（リー・ドンカン）会長テーマ
Make Dreams Real　　夢をかたちに

創立　1954年3月8日
承認　1954年3月30日
例会日時　毎週月曜日 12：30～13：30
例会場　刈谷市新栄町3の26 刈谷商工会議所内
事務所　TEL〈0566〉22-2111 FAX〈0566〉25-2111
メール　kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ　http://www.kariya-rotary.com
会長　塚本　幸夫
幹事　廣根　実
会報委員長　今村　順

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2621回例会プログラム

［当年度＝22回目；当月＝4週目］

2009年（平成21年）1月26日(月)

1．例会………〈司会：プログラム委員会〉

12：28　1．チャイム
12：30　2．点　鐘 ……〈会　長〉
3．開会宣言
4．ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5．講師・ゲスト並びにビジター紹介
6．食　事

12：40　7．会長挨拶並びに会長報告
8．新入会員挨拶……下谷（しもや）　敏朗（としろう）　会員
9．幹事報告
10．出席報告
※第2四半期皆出席表彰(出席委員会)
11．委員会報告
12．ニコニコボックス報告
13．次週並びに次々週のプログラムの予告

（2／2）……
卓話　「厚生労働省の現状について」
講師　日本薬剤師会
常務理事　岩月　　進　様
（紹介者　塚本　幸夫　会長）

（2／9）……
卓話
講師　刈谷音楽協会
理事長　近藤　富士雄　様
（紹介者　橘　　典子　会員）

14．謝　辞
15．点　鐘……〈会　長〉
16．閉会宣言

13：30　17．散　会

2．クラブフォーラム………〈ロータリー情報委員会〉

13:00　卓話　「再開発とは（刈谷駅南再開発について)」
講師　刈谷市役所都市整備部再開発課
刈谷駅南口再開発担当総括
主幹　飯沼　政彦　様
（紹介者　吉原　孝彦　会員）

ビジター

平田　健治 様（岡崎 RC）

ゲスト

刈谷市役所　主査　杉原　秀克 様
〃　　〃　江川　宏昭 様

出席

会員総数　95名　　出席免除　22名
出席義務者＋免除者の内例会出席者　90名
欠席　16名　　出席率 82.22％
前々回（1／7）の修正出席率 100％

会長報告

1）1月度のゴルフ例会が1月22日、三好 CC で開催され、深谷稔彦会員がグロス82、ネット76で優勝されました。おめでとうございます。
2）『マイはし』のご協力、ありがとうございます。

マイはしを持つ塚本会長

幹　事　報　告

1）本日、下谷敏朗さんが入会されましたので、会員数は95名となりました。下谷会員は親睦活動委員会に配属させていただきますので、委員会の皆様、よろしくお願いいたします。

2）本日例会終了後、大会議室にて理事・役員・委員長会議を開催いたします。関係の皆様はよろしくお願いいたします。

3）先週の例会で塚本会長よりご提案のあった“マイはし運動”が今日からスタートしました。今日のところは、まだ？？程度のマイはし使用状況ですが、今後１人でも多くの方にご参加いただきたく、よろしくお願いいたします。

新入会員の紹介

氏　　名　下谷　敏朗
生年月日　昭和32年６月25日
推 薦 者　太田　宗一郎
職業分類　材木小売
事業所名　有限会社トーモク
役 職 名　代表取締役
所属委員会　親睦活動委員会

会長あいさつ

演説を聞いて

塚本　幸夫

第44代　バラク・フセイン・オバマ米大統領が就任しました。バラクとは神に祝福されし者という意味です。

その直後の演説に聞き入りました。

恐れより希望を、対決より団結を、米国は危機を克服できると語り、新しい責任の時代が来たと変革実行に向けて努力するよう国民の自覚を求めました。

牧師の演説のような、格調高い演説でありました。

オバマ氏はハワイで生まれ、インドネシアで少年期を過ごし、20歳でコロンビア大学に編入し、弁護士になりました。

そして、2004年の民主党大会の基調演説「大いなる希望」で、州議会の一新人議員にすぎなかった彼が一躍全米の注目を集め、アメリカンドリームを成し遂げました。そのスピーチのバリトンの声での魅力も含め、今後の活躍を期待したいと思います。

夢と希望を与える未来の構築を念願しております。

クラブフォーラム

卓　話

「再開発とは（刈谷駅南再開発について）」

刈谷市役所都市整備部再開発課
刈谷駅南口再開発担当総括
主幹　飯沼　政彦 様

当地区は、昭和58年にタイル工場跡地を刈谷市が取得し、刈谷の玄関口の整備に向けた動きが始まりました。

平成５年には再開発準備組合が設立され、様々な計画が検討されましたが、バブル崩壊等の経済環境の変動により、事業化には至りませんでした。

その後、準備組合と刈谷市から、住都公団（現在の都市機構）に対し再開発の施行要請を行い、平成10年４月に公団の直接施行地区として国から採択されて以降、本格的に事業が動き始めました。都市計画決定、事業計画認可、権利変換計画認可を経て、19年１月に工事着手となりました。

当再開発事業は、総合文化センター、商業施設および住宅等の建築物と、道路や駅前広場等の公共施設を同時に整備するものです。

平成19年度には地区愛称が「みなくる刈谷」と決まり、20年末には道路、ウィングデッキ、みなくる広場等の供用開始と、商業施設がオープンとなりました。

今後は、商業施設内のスポーツクラブが２月１日にオープン、駅前ロータリーが２月２日に供用開始、住宅は３月中下旬に入居開始の予定で、平成21年度中には、駅前広場や総合文化センターが完成し事業完了となります。これもひとえに、権利者を始めとする関係者や市民の皆様のご理解とご協力の賜物と、深く感謝しております。

当市の再開発はバブル期以降、全国各地で行われている公的施設の導入を柱とした広域再開発です。柱となる総合文化センターは、県内でも有数な施設であると自負しております。

一方、商業施設については、規模や内容的に決して派手なものではありませんが、地域のポテンシャルを見据えて計画を十分練った上での商業施設であるならば、土地の健全で合理的な利用を実現するという、再開発本来の目的に十分かなうものだと考えています。

また、広域の集客施設という捉え方をすれば、総合文化センターのような大ホールを隣接しているということで、大型商業施設と同様な集客が今後見込まれるのではないかと考えております。

再開発は施設が完成した時点で完了ではなく、5年10年経って、緑が育ち、人の居場所ができ、建物が街に溶け込んで初めて魅力が出てくるものであります。どうか皆様には、長い目で「みなくる刈谷」を見守っていただきたいと思います。

・「みなくる刈谷」の施設概要

内　容	商業施設	公益駐車場	公益施設	住　宅
敷地面積	約10,800㎡	約5,300㎡	約11,800㎡	約4,200㎡
延床面積	約28,000㎡	約19,000㎡	約23,000㎡	約13,000㎡
階　　数	地上3階	地上5階6層	地上5階 地下1階	地上14階
駐車場台数	約470台	約610台	―	約130台
主な内容	ショッピングモール スポーツクラブ 専門店等	―	市民ホール (大 1,541席) (小　282席) 生涯学習施設	分譲タイプ 70戸 賃貸タイプ 56戸 計　　126戸

第 8 回 理 事 会

Ⅰ　会長挨拶　〈会　長〉

Ⅱ　議　　題

1．2・3月のプログラム（案）について
〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉

2．中間決算報告について　〈会　計〉

3．創立55周年記念移動例会について
〈55周年実行委員会〉

4．刈谷音楽協会主催事業の第5回刈谷音楽祭後援名義について　〈社会奉仕委員長〉

5．次年度地区委員出向について　〈次年度幹事〉

6．その他
・55周年実行委員会報告

Ⅲ　会場監督の所見

1月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成21年1月22日㈭
於：三好カントリー倶楽部・東コース

成　績	氏　名	G	H	N
優　勝	深谷　稔彦	82	6	76
2　位	池田　憲司	102	23	79
3　位	盛田　豊一	84	5	79
B　B	鈴木　　豊	101	10	91